

学習指導要領に示された本単元に関わる目標及び内容等

1 第4学年の目標

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色，地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動，地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて，人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに，調査活動，地図帳や各種の具体的資料を通して，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を考える力，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力，考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について，主体的に学習の問題を解決しようとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚を養う。

2 内容

(3) 自然災害から人々を守る活動について，学習の問題を追究・解決する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 地域の関係機関や人々は，自然災害に対し，様々な協力をして対処してきたことや，今後想定される災害に対し，様々な備えをしていることを理解すること。

(イ) 聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして，まとめること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 過去に発生した地域の自然災害，関係機関の協力などに着目して，災害から人々を守る活動を捉え，その働きを考え，表現すること。

第4学年西組 社会科学習指導案

学習指導者 網野 未来

1 単元 「みんなの力で守ろう わたしたちの暮らし」について

(1) 目指す子供の姿

【互いに磨き合い、学び続ける子供の姿】

台風から人々の命を守るための坂出市の取組を明らかにするために、社会的事象の見方・考え方を働かせて、台風から人々の命を守る活動の様子を捉え、その働きを考える。そして自分の生活との関連を友達と話し合うことで防災の在り方について解釈を再構成し、自然災害に対してこれからのよりよい防災について考え続けている。

本単元では、市役所や警察、消防などの関係機関や地域の人々が、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを明らかにしていく。そのためにまず、時間を広げ、市の災害年表を使って過去に起きた自然災害を概観することで、床下・床上浸水を合わせると2000戸の被害が出た平成16年の台風に着目し、台風から人々の命を守る取組への関心を高めていく。そこで、市民、地域、市役所へと立場を広げ、平成16年の台風時に市や県、国、警察や消防など様々な関係機関や地域の人々が協力して被害を減らすよう努力していた様子を捉える。さらに、時間を広げて、平成16年以前と以後の防災の取組を比較しながら、台風に向けて市役所などが防災対策を考え、地域の人々と共により多くの備えをするようになったことを捉えていく。その際、自主防災組織の取組等について一つの地域の様子を調べた後に、空間を広げて市内の自主防災組織の分布と関係付けることで防災に関する取組が坂出市全体に広がっていることを捉えていく。このようにして子供たちは、坂出市の防災の在り方について、公・地域・市民が協力して台風から人々の命を守っているのだと総合的に捉えていく。そこで、学んできたことを自分たちの生活と関連付けて「現実に自分たちの行動はきちんとできているだろうか」と見直すことを通して、「市や地域の自主防災組織の活動は進んでいるけれど、僕は避難訓練に参加していないよ」、「県や市が避難を呼びかけても私たちが行動しないと命を守れないよ」、「もっと市民一人一人が、自分の命は自分で守るという意識をもたないといけないね」と話し合いながら、市民が避難行動をとるためには防災意識を高めることが大切なのだを解釈を再構成していく。このようにして、台風から人々の命を守るための坂出市の取組について明らかにしていった子供たちは、「他の自然災害もいつやってくるかわからない、市や地域は坂出市にあった備えをしていくべきだ」、「日頃から自然災害の情報に関心をもち、自分の命を守る行動をする準備をしよう」と一市民としてよりよい防災について考えていこう。

(2) 子供の実態

メタ認知に関する実態調査によると、授業の初めに前の時間までの学習を思い出したり、今日することを自分で考えたりすることができていないと感じている子供が34名中16名いることが分かった。また、授業の終わりに自分の考えの変容を十分に考えられていない子供が34名中12名、友達の意見を聞いて分かったことがあるかと考えられていない子供が34名中10名いることが分かった。教科に関する実態調査によると、自分の考えに自信が持てない、話すことが得意ではない等の理由で自分の考えを説明するのは苦手だと答えた子供が16名いる。また、今何をすべきか、次にどうしたらよいか個別に声をかける必要のある子供（A児、B児）がいる。

(3) メタ認知を促す働きかけ及び個の気質に応じた支援

① 課題設定以前【これからボード、マイタイムライン】

単元の学習計画をこれからボードにまとめ、補助黒板に掲示しておく。その際、家庭、地域、市や県や国と同心円状に広がる図に整理することで、取組の広がりを視覚化する。また、調べたことを国・県、市、地域、市民に整理した表にまとめたものも補助黒板に掲示しておく。これらを使って、今日考えていきたいこととその理由を問うことで、計画と既習



【これからボード】

内容をすりあわせながら、分かっていることと分からないことを整理する場を設定する。(4～9時間目) 本時では、前時の最後に出た気づきを全体で確認する。そして、マイタイムラインのカードを操作しながら市や地域の取組を見ると、市民にできそうなことが他にもあることを共有する。さらに、今日考えていきたいことを問い、課題を設定する。

② 課題解決中【マイタイムライン】

4時間目には、家庭の備え等を書いた付箋紙をマイタイムラインに時系列に位置づける。5～9時間目には、公や地域の働きが市民のどの避難行動につながっているか、その関係性を矢印を使って表出させ、その向きや場所と理由を交流する。そうすることで、互いの異同に気づき、公や地域と市民との関係性についての考えが再考されていくだろう。(4・6・8・9時間目) 本時では、公や地域の取組を根拠に、市民のできることを再考する。そして、付け足した付箋紙と、その理由について交流していく。考えを説明するのが苦手だと感じる児童も付箋紙にまとめることで、端的に友達に伝えることができるとともに、根拠もマイタイムラインにあるので、伝える際の手助けとできるだろう。また、テレビ画面で作業の手順をいつでも確認できるような環境を整えることで、A児・B児に対応する。

③ 課題解決後【今日のキラリさん】

自分が分かった理由の観点で振り返りを行う。今日のキラリさんを友達や自分から選び、「〇〇さんが～と言ったから」「友達に伝えたから」「資料を読み取れたから」など分かった理由を書く。こうすることで、自己の学び方や協働のよさに気付くことができるようにする。(1～10時間目)

2 単元計画 (総時数 10時間)

平成16年の台風に着目して、対処や備えについて学んでいく際に、家庭での聞き取りや自分の地域の取組と実態を調べることで生活と関連付けられるようにする。こうすることで一人一人の防災意識を高めることの大切さに気づき、よりよい坂出市の防災の在り方を切実に考えていけるようにする。

次	学習の流れ及び主な予想される子供の意識
一	<p>① 平成16年の台風の時、坂出市はどんな様子だったのだろう</p> <p>坂出市でこれまでに起きた自然災害について調べる活動を通して、市では台風による災害が多かったことや平成16年の台風による被害の様子を理解し、防災の取組への関心を高める。</p>
	<p>②③ 平成16年の台風の時、人々はどのように行動したのだろう</p> <p>平成16年の台風時の様子を調べる活動を通して、市役所を中心に警察署や地域の人々等官民が協力して対処したことを捉える。それでも坂出市に大きな被害が出たことに気付いた子供たちは、「今後の台風に備えて、だれが、どのような取組をしているのだろう」という単元を通じた課題を設定し、今後の学習の計画を立てる。</p>
二	<p>④ 家庭では、台風に対してどのような備えをしておくべきなのだろう</p> <p>家庭の取組を交流する活動を通して、避難グッズの用意や避難場所の確認等の取組があることに気づき、家庭でも日頃から台風に備えていることの大切さを捉える。分かった取組をマイタイムラインにまとめる。</p>
	<p>⑤⑥ 地域では、台風に向けてどのような取組をしているのだろう</p> <p>5時間目に地域の取組を調べ、防災訓練を行ったり、防災倉庫に備蓄したりするなど、日頃から台風に向けていることを理解する。それらを自主防災組織の分布と関係付けながら、地域の人々の活動が市全体で行われていることを捉える。6時間目に分かった取組をマイタイムラインにまとめ、市民との関係性を捉える。</p>
三	<p>⑦⑧ 市は台風に向けてどのような取組をしているのだろう</p> <p>7時間目に平成16年以前と以降の市の取組を比較し、市は、県や国と協力して川の水が流れる面積を広げる工事や排水ポンプの増設をしたり、ハザードマップやタイムラインを作ったりするなどして台風に向けていることを捉える。8時間目に分かった取組をマイタイムラインにまとめ、市民との関係性を捉える。</p>
	<p>⑨ 全体を見て、市民に他にできることを考えよう (本時9/10)</p> <p>命を守るために市民がとるべき行動を話し合う活動を通して、市、県や国、地域の取組に比べて、市民が十分行動できていないことに気付く。そして、一人一人の防災意識を高めることが重要であることを捉える。</p>
	<p>⑩ これからの自然災害に対して、坂出市はどのようなまちになっていくとよいだろう</p> <p>これからの自然災害に対して、坂出市はどうあるべきか話し合い、今後の防災についての考えをまとめる。</p>

3 本時について

目 標	台風が来たときに市民がとるべき行動を話し合う活動を通して、市民の防災意識の重要性に気付き、一人一人が確実に行動をすることで台風から命を守ることにつながることを理解できる。
--------	---

学習活動	予想される子供の意識						
<p>1 学習課題を確認する。 【これからボードマイタイムライン】</p>	<p>台風に備えた家庭や地域、市等の取組をマイタイムラインにまとめてきたね。 ハザードマップに防災無線でも情報を伝えると書いてあった。だから、市民は防災無線からも情報を集めることができるな。 市や地域の取組を見ると、私たち市民にもっとできることがありそうだよ。</p>						
<p>全体を見て、市民に他にできることを考えよう</p>							
<p>2 自分たちにできることを考え、話し合う。 【マイタイムライン】</p>	<p>今まで学習してきたことをもとに考えよう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">雨量や川の水位、道路の通行止めの情報はホームページで公開している。自分たちでもチェックできるな。</td> <td style="width: 33%;">ハザードマップにあった避難場所には食料は水はないんだ。自分たちで用意しなくてはならないね。</td> <td style="width: 33%;">地域の防災訓練では、いざ避難するときの経路まで話し合って決めて、練習している。自分たちも参加できるな。</td> </tr> <tr> <td>確かにハザードマップによると、防災無線や広報車が情報を伝えているね。それらからも情報を集めるといいな。</td> <td>確かにどの避難所が安全か、どこを通過して避難するのが安全か、考えることは大切だね。訓練しておく、いざというとき行動できそうだ。</td> <td>なるほど、通行止めや川の氾濫があるから、早めに避難しないといけないね。食料や水をいつでも持ち出せるようにしておくといいね。</td> </tr> </table> <p>友達の意見を聞くと、市民にできることがまだまだあったよ。 これでマイタイムラインは完成だ。坂出市に大きな台風が来ても大丈夫だ。</p>	雨量や川の水位、道路の通行止めの情報はホームページで公開している。自分たちでもチェックできるな。	ハザードマップにあった避難場所には食料は水はないんだ。自分たちで用意しなくてはならないね。	地域の防災訓練では、いざ避難するときの経路まで話し合って決めて、練習している。自分たちも参加できるな。	確かにハザードマップによると、防災無線や広報車が情報を伝えているね。それらからも情報を集めるといいな。	確かにどの避難所が安全か、どこを通過して避難するのが安全か、考えることは大切だね。訓練しておく、いざというとき行動できそうだ。	なるほど、通行止めや川の氾濫があるから、早めに避難しないといけないね。食料や水をいつでも持ち出せるようにしておくといいね。
雨量や川の水位、道路の通行止めの情報はホームページで公開している。自分たちでもチェックできるな。	ハザードマップにあった避難場所には食料は水はないんだ。自分たちで用意しなくてはならないね。	地域の防災訓練では、いざ避難するときの経路まで話し合って決めて、練習している。自分たちも参加できるな。					
確かにハザードマップによると、防災無線や広報車が情報を伝えているね。それらからも情報を集めるといいな。	確かにどの避難所が安全か、どこを通過して避難するのが安全か、考えることは大切だね。訓練しておく、いざというとき行動できそうだ。	なるほど、通行止めや川の氾濫があるから、早めに避難しないといけないね。食料や水をいつでも持ち出せるようにしておくといいね。					
<p>3 自分たちの行動ができていないか振り返り、吟味する。</p>	<p>私たち市民は市や地域と連携して、きちんと行動できているだろうか。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">僕は、避難訓練に参加したことがない。いざという時、近所の人と助け合えないな。</td> <td style="width: 33%;">私は、ハザードマップを家族で見たり、避難場所について話し合ったことがあまりないよ。</td> <td style="width: 33%;">僕は、避難グッズの準備もできていないし、実際に大きな台風が来ても、避難しないかもしれない。</td> </tr> </table> <p>西日本豪雨では、実際に避難した人が0.5%だったんだね。その理由は、被害にあうと思っていなかった人が53.3%もいたからなんだ。 住民一人一人が確実に行動するという防災意識を高めることが大切だね。</p>	僕は、避難訓練に参加したことがない。いざという時、近所の人と助け合えないな。	私は、ハザードマップを家族で見たり、避難場所について話し合ったことがあまりないよ。	僕は、避難グッズの準備もできていないし、実際に大きな台風が来ても、避難しないかもしれない。			
僕は、避難訓練に参加したことがない。いざという時、近所の人と助け合えないな。	私は、ハザードマップを家族で見たり、避難場所について話し合ったことがあまりないよ。	僕は、避難グッズの準備もできていないし、実際に大きな台風が来ても、避難しないかもしれない。					
<p>4 学習を振り返る。 【今日のキラリさん】</p>	<p>防災意識を高め、ふだんから避難グッズをまとめたり、いろいろな方法で情報を集めたりして、いざという時に避難できるようにすることが大切だな。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">〇〇さんの意見を聞いて、市民にはどんな行動ができるか分かった。</td> <td style="width: 50%;">資料から一人一人の防災意識を高めることが大切だと分かった。</td> </tr> </table> <p>完成したマイタイムラインは地震や津波にも使えるのだろうか。</p>	〇〇さんの意見を聞いて、市民にはどんな行動ができるか分かった。	資料から一人一人の防災意識を高めることが大切だと分かった。				
〇〇さんの意見を聞いて、市民にはどんな行動ができるか分かった。	資料から一人一人の防災意識を高めることが大切だと分かった。						

評 価	台風が来たときに市民がとるべき行動を話し合う活動を通して、市民の防災意識の重要性に気付き、一人一人が確実に行動をすることが命を守ることにつながることを理解し、ノートに表現している。 【方法：発言・ノート】
--------	--